

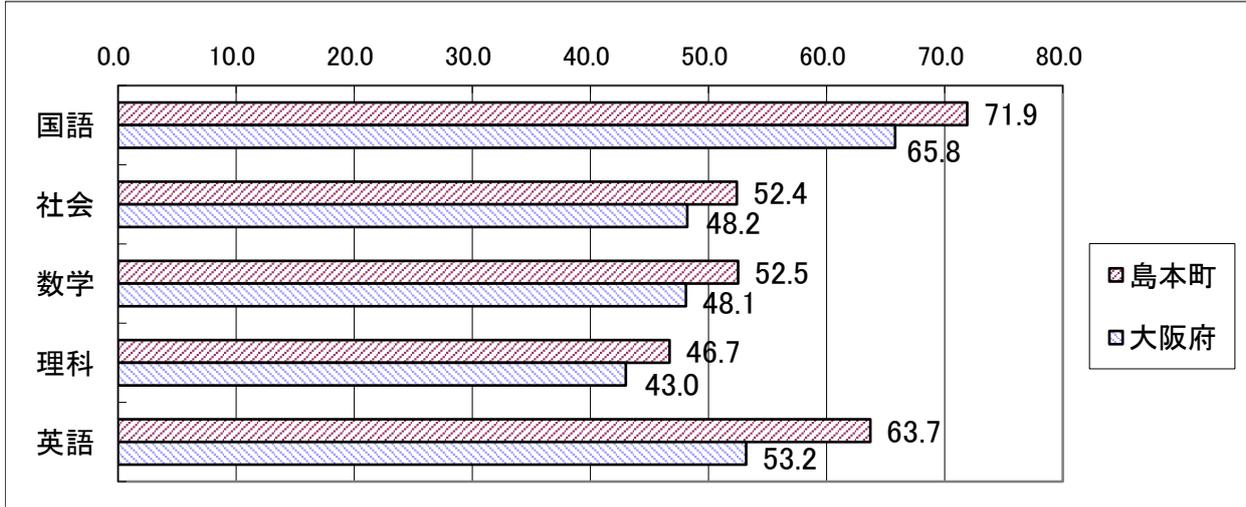
# 令和3年度大阪府中学生チャレンジテスト 中学3年生 結果概要①

教育推進課

1. 実施日時: 令和3年9月2日(木)
2. 対象・内容: 第3学年(国語・社会・数学・理科・英語、各教科アンケート)

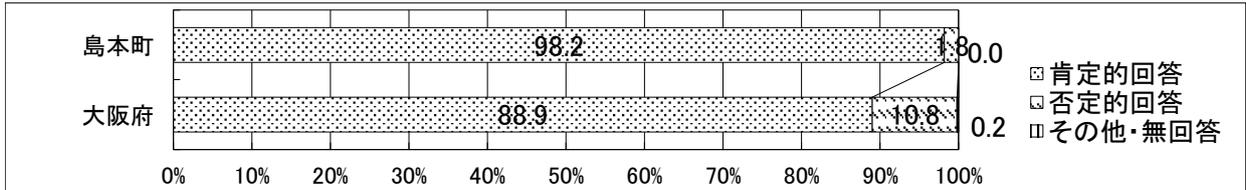
## 1. 教科別結果概要(平均点)

	国語	社会	数学	理科	英語
島本町	71.9	52.4	52.5	46.7	63.7
大阪府	65.8	48.2	48.1	43.0	53.2

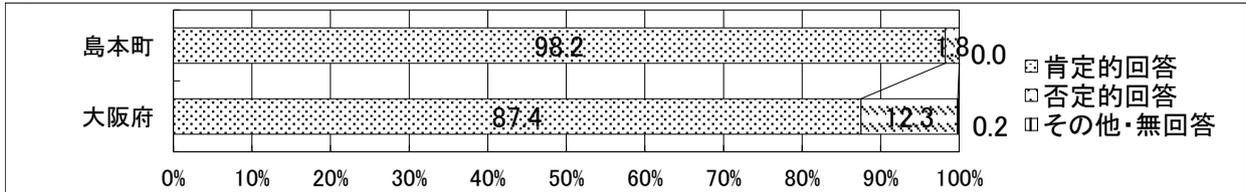


## 2. アンケート(抜粋)

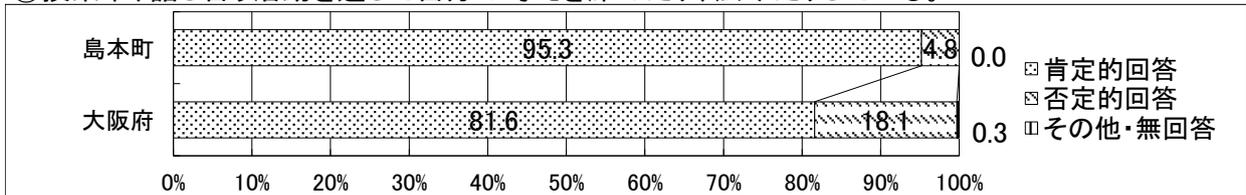
①授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



②授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。

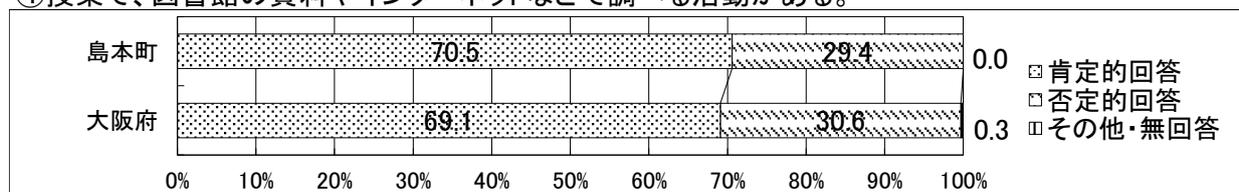


③授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。

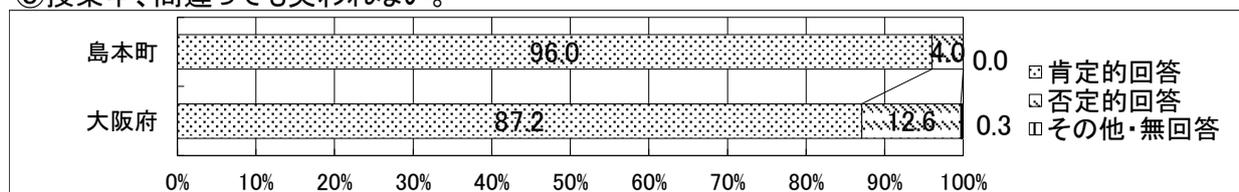


## 令和3年度大阪府中学生チャレンジテスト 中学3年生 結果概要②

④授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



⑤授業中、間違っても笑われない。



### 3. 分析等

#### <教科別結果について>

○教科別学習状況については、全ての教科において府の平均を上回った。中でも、英語は、府の平均を10.5ポイントも上回り、良好な結果が継続している。

○全ての教科の無解答率も、府の平均より結果がよく、全般的に学力向上に係る取組の成果が表れていると言える。

○1年時から3年時のチャレンジテストの結果において、全ての教科で対大阪府比を上回った。

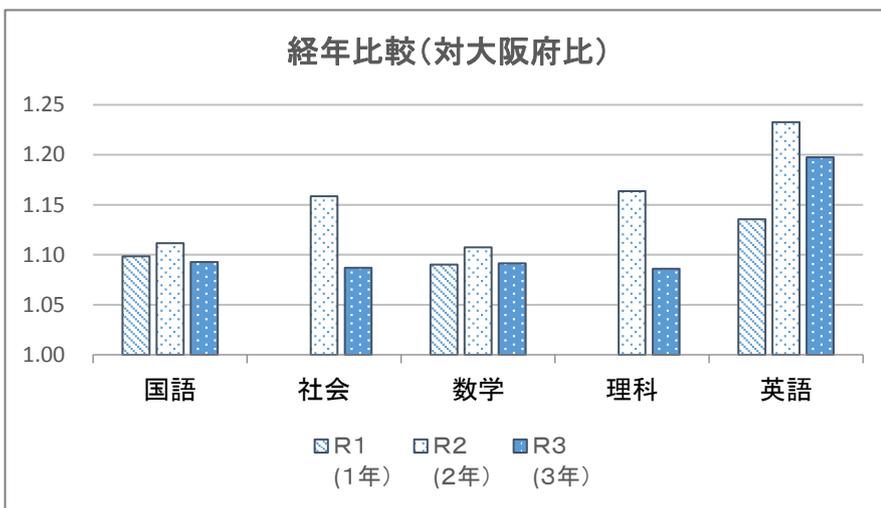
#### <アンケート結果について>

○「授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。」「授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。」「授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。」のいずれも肯定的回答が95%以上となっており、府平均より高い。このことは、学習指導要領でも示されている「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの取組を進めてきた成果であると考えられる。対話・話し合う活動によって、自分の考えが変わったり、新たな気づきにつながるよう、さらなる対話・話し合い活動の充実を図っていく。

# 令和3年度大阪府中学生チャレンジテスト 中学3年生 1年次からの経年比較

## 1. 教科別の3か年の推移(1年次は国・数・英のみ)

	国語	社会	数学	理科	英語
R1 (1年)	1.099		1.090		1.136
R2 (2年)	1.111	1.159	1.107	1.164	1.233
R3 (3年)	1.093	1.087	1.091	1.086	1.197



## 2. 教科アンケート 同一質問への肯定的回答状況 質問事項

- ①「授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。」
- ②「授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。」
- ③「授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。」

	①	②	③
R1 (1年)	92.6	94.2	95.0
R2 (2年)	97.7	94.2	93.1
R3 (3年)	98.2	98.2	95.3

